

経営比較分析表（令和4年度決算）

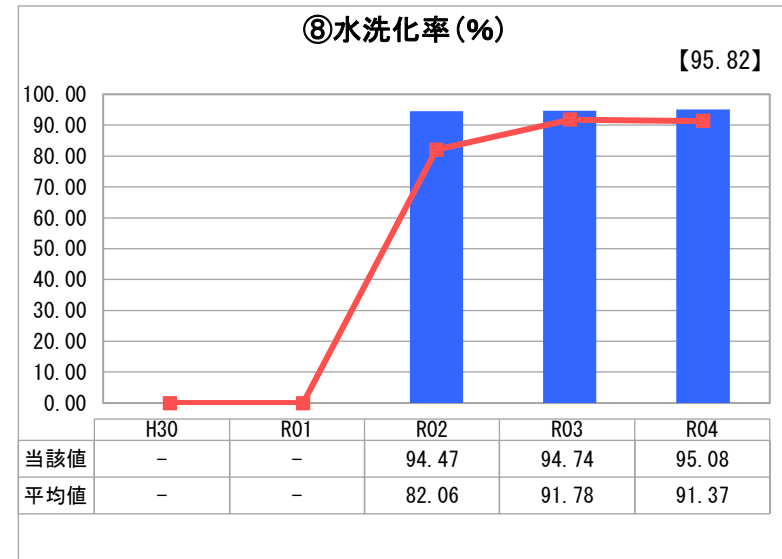
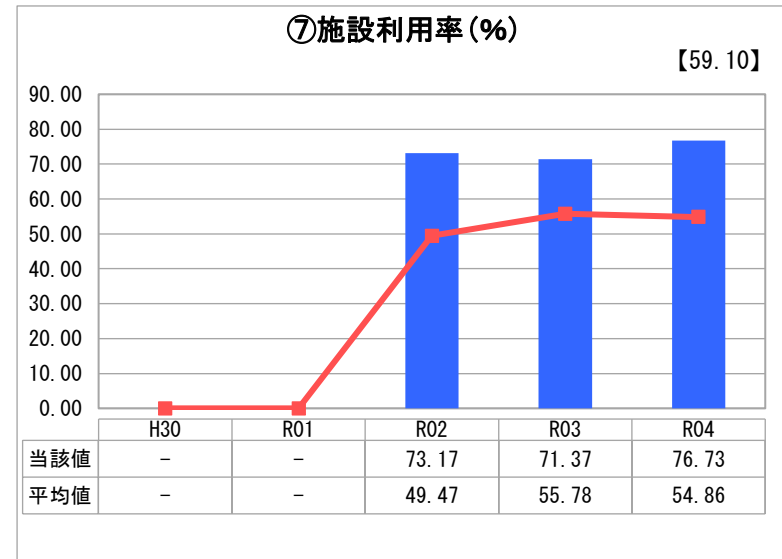
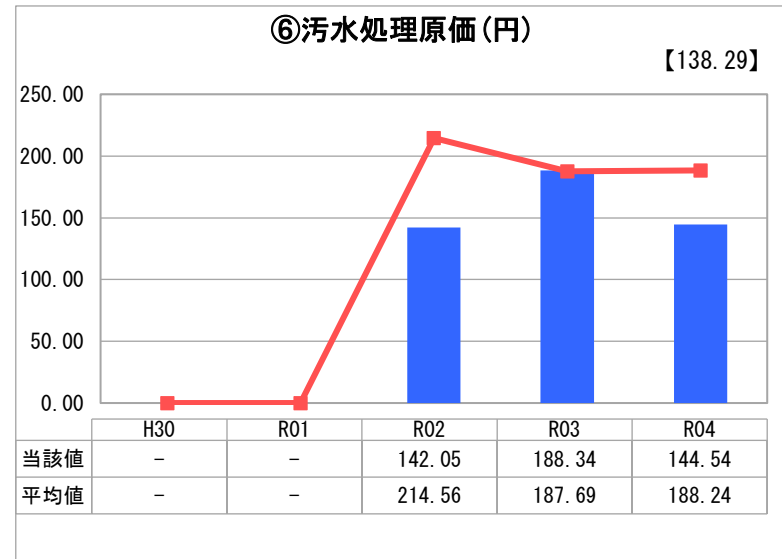
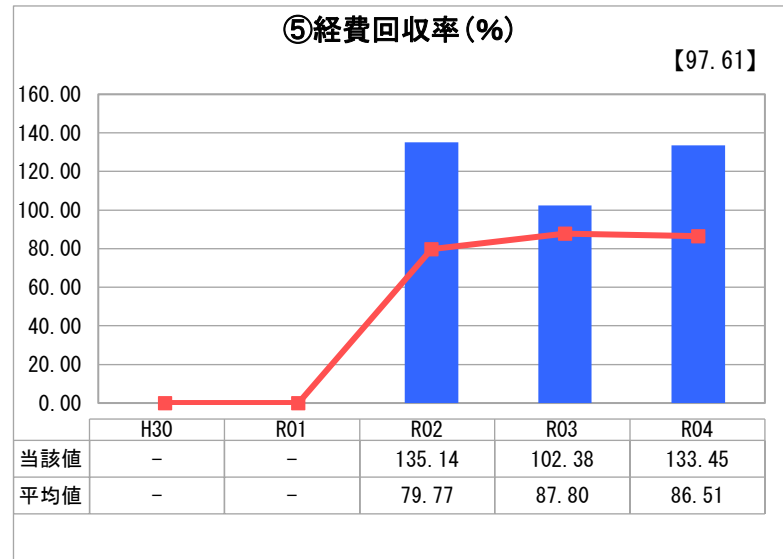
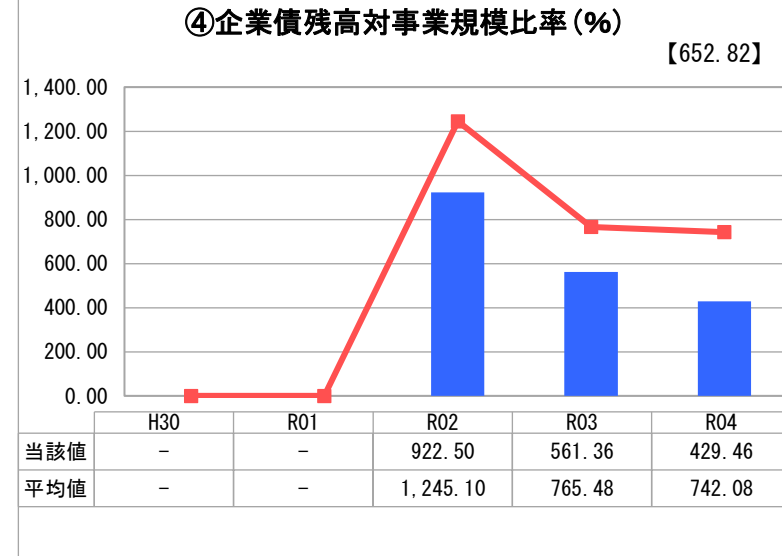
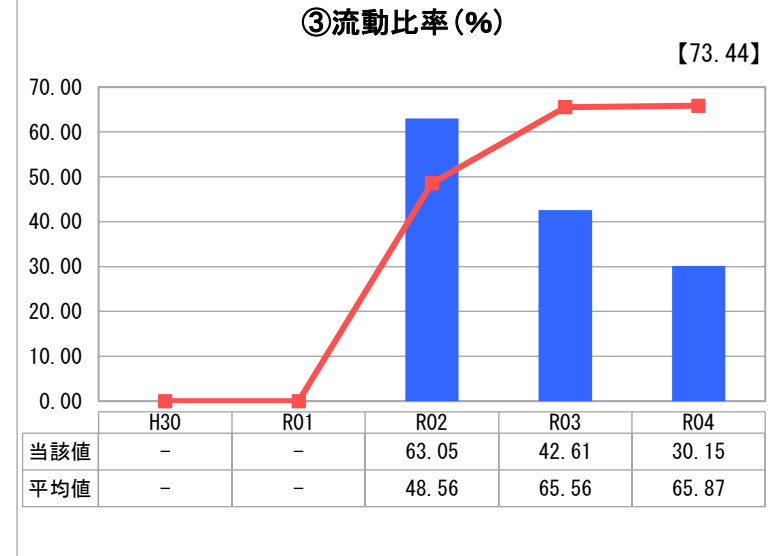
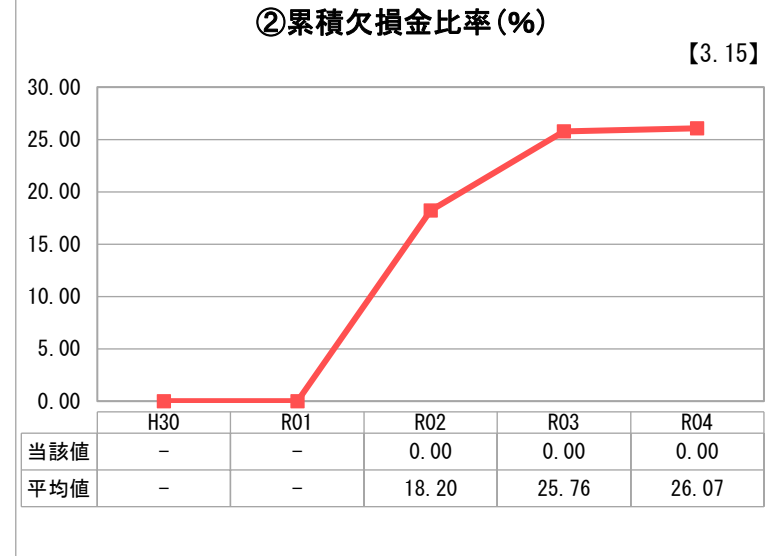
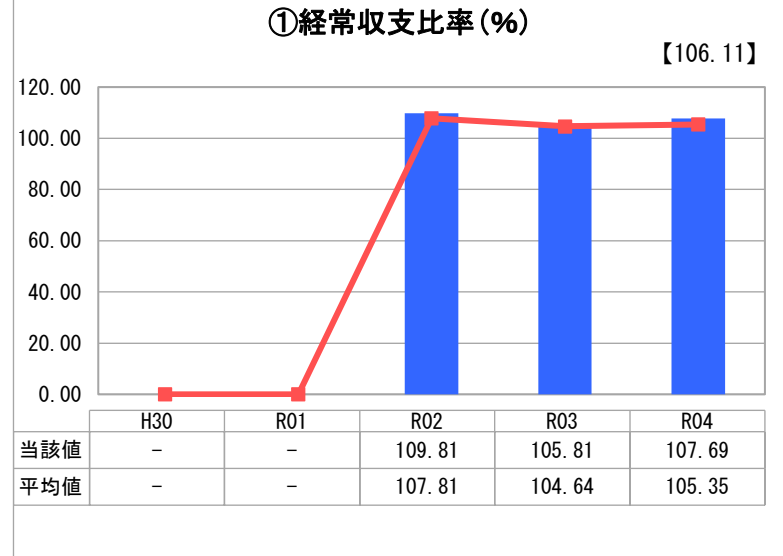
長野県 辰野町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	63.53	68.42	89.60	3,941

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
18,611	169.20	109.99
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
12,634	5.97	2,116.25

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
[]	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

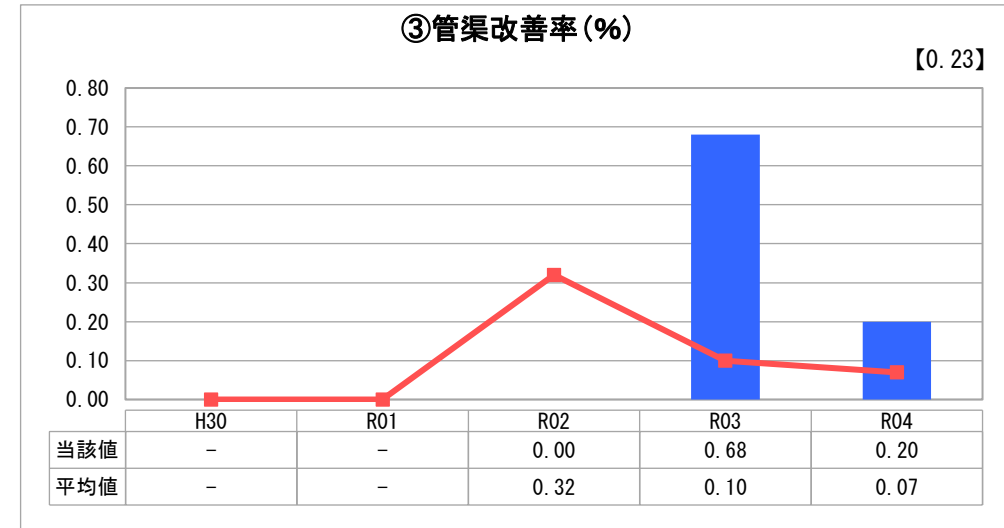
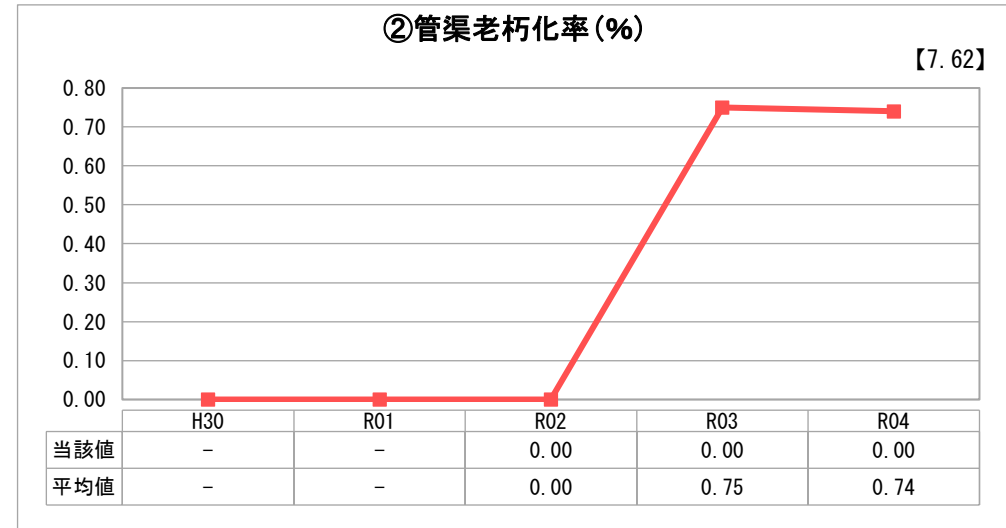
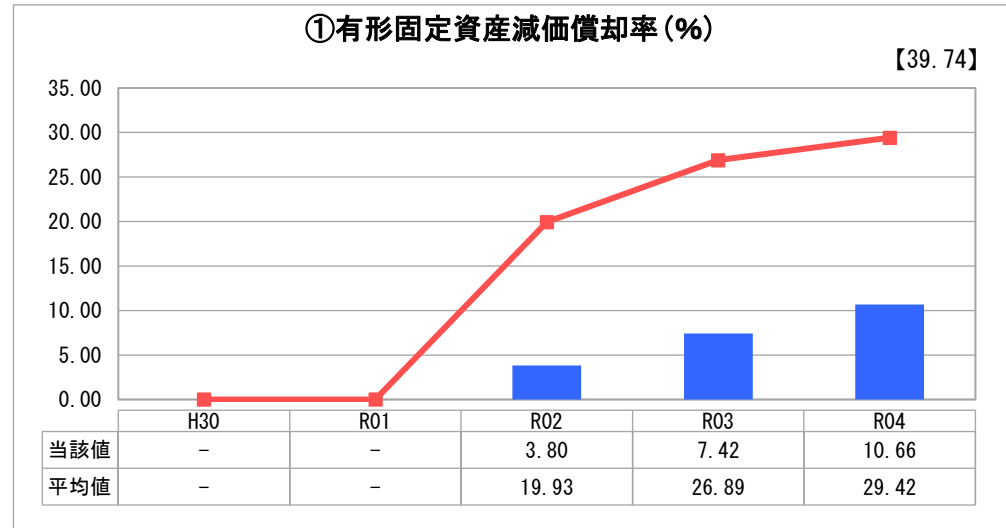
1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は基準である100%を超える107.69%で類似団体平均値を2.34ポイント上回り、健全な状態です。しかしながら、一般会計繰入金に一部依存した収入構造となっているため使用料改定の検討・実施など改善が必要な状況です。② 流動比率は30.15%と類似団体平均値を35.72ポイント下回りました。これは、流動資産が増加したためです。起債償還については償還金の支払いがピークを過ぎているため、償還額の減少に伴い流動負債も減少することから今後は改善が見込まれます。③ 企業債残高対事業規模比率は類似団体平均値を312.62ポイント下回りました。起債償還については償還金の支払いがピークを過ぎているため、今後は減少傾向で推移していくことが予想されます。④ 経費回収率は基準である100%を超えており、類似団体平均値を大きく上回っています。引き続き使用料収入の確保に努めます。⑤ 汚水処理原価は144.54円と類似団体平均値を43.7ポイント上回りました。引き続き汚水処理費の削減に努めます。⑥ 施設利用率は76.73%で類似団体平均値より高く、令和3年度に農業集落排水処理2地区を接続統合したため上昇しています。長期的には人口減少に伴う利用率の低下が懸念されます。⑦ 水洗化率は95.08%で類似団体平均値を上回っています。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は10.66%と類似団体平均値より低く、② 管渠老朽化率は0%となっており、現在のところ更新・修繕を要する箇所はみられません。現在はストックマネジメント計画に基づき、長寿命化や耐震化事業を計画的に行っています。③ 管渠改善率は0.20%と若干手を加えたため類似団体平均値を上回りました。

2. 老朽化の状況



全体総括

令和4年度は地方公営企業法適用3年目でしたが、経常収支比率、経費回収率ともに類似団体平均値を上回っており、健全経営のもと事業実施できたと認識しています。しかしながら、下水道事業特有の一般会計繰入金に大きく依存した収入構造となっており、下水道事業の適正な運営と持続的なサービスの提供を行うために、経営戦略の見直し作業を行いました。結果、下水道事業全体で今後10年間は経費回収率が100%以上の見込みであることから、5年後の経営戦略見直し時に再度、使用料改定の検討・実施などを行う予定です。なお、令和元年度以前の経営比較分析数値については法適用のため、0.00で表示しています。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。